

【第10回ケニア非行少年処遇制度研修】

1. 日程及び参加者

- 平成22年2月15日（月）～3月11日（木）
- ジェンダー・児童・社会開発省職員，内務省（矯正局・保護局）職員，裁判官，警察官等12名

2. 研修概要

本研修は，非行少年処遇の第一線に携わるケニア政府職員に対し，日本及び諸外国の制度と運用を具体的に学ぶ機会を提供することにより，ケニアの制度の一層の向上を図ろうとするものです。

アジ研では，非行少年の急増への対処に苦慮するケニア政府に対し，1997年以降，毎年複数の教官をJICA短期専門家として派遣し，17本に及ぶガイドライン，500ページ余の実務マニュアルを完成させるなど，着実な支援を実施してきました。本研修は，アジ研教官の現地での活動を補完し，その成果をより一層定着させることを目的とするもので，2000年以降，毎年継続的に開催されています。

3. 内容

- ケニアの現状・問題点の発表及び検討
- 日本及び諸外国の非行少年保護制度に関する知識の付与（※）
- 日本の非行少年処遇実務の体験学習
- ケニアの少年保護制度及び職員研修を改善するための具体的なアクション・プランの策定

※アジ研教官による講義のほか，以下の客員専門家・外部講師による講義を行う（敬称略）。

- ・ハリーブラグ 西オーストラリア大学犯罪学研究センター名誉教授
- ・トリシャ・ボイス 英国・ウェールズ少年司法委員会
- ・品田秀樹 新潟少年学院専門官ほか5名